

平成23年度 第2回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成23年10月5日（水） 13時30分～15時00分
- 2 開催場所 宇都宮市役所 14A会議室
- 3 出席委員 12名
廣瀬委員長，福田副委員長，宗像委員，小林委員，櫛渕委員，高崎委員，
吉田委員，勝田委員，伊藤委員，石澤委員，河田委員，石川委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 1名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ①平成24年宇都宮市成人式について
 - ②学校における放射線に係る対応について
 - ③宇都宮市民大学（前期講座）の実施状況について
 - ④人材かがやきセンター主催講座の実施状況について
 - ⑤子どもの家等日曜日開設事業等の実施状況について
 - (2) 協議事項
 - ①「（仮称）宇都宮市成人教育推進計画」の策定について
 - (3) その他
 - ①宇都宮市民大学（後期講座）について
 - ②平成23年度中期・後期人材かがやきセンター主催講座
- 7 閉会
- 8 発言の要旨

廣瀬委員長	平成23年度第2回目の会議です。本日の会議では，成人式についての報告や震災以降の人々の生活に影響を及ぼしている放射線に関すること，また成人教育の計画策定について協議をいただくことになっています。 短い時間ですが，活発なご協議をお願いします。 それでは，報告事項の1「平成24年宇都宮市成人式について」事務局から説明願います。
事務局	【資料1について説明】
廣瀬委員長	ただいま事務局から来年1月に行われる成人式について変更点も含めて説

明がありましたが、ご意見いかがでしょうか。

伊藤委員

事業内容の見直しの中で記念写真の廃止とありましたが、廃止するかどうかは地域に任せることはできないのですか。
また、記念写真にかかる経費と、成人式全体にかかる予算はどのくらいですか。

事務局

宇都宮市では各中学校区の実施委員会に交付金を交付して実施していますが、昨年度の交付金は約2,100万円でした。またその内の200万円ほどが記念写真にかかる経費となります。
今回はすべての会場における全市的な必須事業としては対象から外すこととしましたが、実施委員会の中で、やり方や予算のかけ方を工夫して実施することは可能としています。

櫛淵委員

地域交流事業とは、具体的にどのような事業を行ったのですか。
また成人式の各テーブルには飲物や軽食が出されていますが、新成人が手をつけておらず、大量に残るということを耳にしています。写真や花の予算を削減するのなら、食糧費を削減してはどうでしょうか。

事務局

例年、食事については、多く残ってしまうと聞いており、見直しが必要と考えています。各会場において、食事の内容、残り具合なども違うので、残りの少ない会場がどのようなものを出しているのか、また新成人が持ち帰れる出し方をしている会場もあるので、情報を共有化していきたい。
会場側としても食事を提供することで、利益が見込めるため、会場費を安く抑えている面があるため、食事を無くす事がすぐには難しい状態なので、今後の検討項目としていきたいと考えております。
地域交流事業については、例えば、昨年度は新成人が地域への感謝の気持ちを書いたメッセージカードを台紙に貼り付け、生涯学習センターに飾って地域の方に見て貰うなどの事業が実施されました。写真撮影やテーブルの花は廃止としましたが、今後は地域について考え、地域とつながれるような事業を充実させていきたいと考えています。

吉田委員

写真撮影の廃止は金銭的な面もあるとは思いますが、地域交流事業を行うための時間を確保することが狙いではないですか。

事務局

委員のおっしゃるとおり、写真撮影を行うためにはクラス毎に整列させたり、郵送用の封筒に宛名を書かせたりと、かなりの時間と労力がかかります。本来、成人式で行いたい事業ができないということもあり、今回見直したところです。

吉田委員	<p>来賓は式典だけ出席して、事業が始まる際には退席する形になっているが、来賓が各テーブルに入るなどして、新成人と交流できるような機会を設けることはできないでしょうか。</p> <p>また中学校の校長先生も出席されますが、現任の校長であり、自分たちが卒業したときの先生ではありません。新成人と学校の心理的な距離感を遠くしてしまうのではないかと思います。自分たちが卒業したときの校長先生と話したい、会いたいと考える人もいると思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、成人式は25の中学校区の実施委員会において実施されていますが、その中には当時の恩師や校長先生を来賓としてお迎えしている会場もあります。</p> <p>これから、実施委員会が立ち上がり、今年度の事業企画について考え始める時期ですので、本日いただいたご意見は、各実施委員会に繋いでいきたいと考えております。また、来賓と新成人の交流につきましても、成人式をそういった場として活用したいと考えておりますので、検討していくよう、合わせて実施委員会に情報提供してまいります。</p>
廣瀬委員長	<p>他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。</p> <p>無いようですので、次に報告事項の2「学校における放射線に係る対応について」事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>【資料2について説明】</p>
廣瀬委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見いかがでしょうか。</p>
石川委員	<p>10月上旬以降の空間放射線量率の定点外測定についてですが、測定箇所が市教育委員会が指定する放射線量が高いことが予想される箇所となっています。具体的にはどのような所を測定するのですか。また検査は各学校で行うのですか。</p>
事務局	<p>一般的に放射線量が高いといわれている、雨どいの周辺や側溝などが該当します。</p>
事務局	<p>現在、簡易式空間放射線測定器を手配し、各学校へ配送しているところですので、それが届きましたら、各学校でそれぞれ気になる個所について測定できる体制になります。</p>
高崎委員	<p>空間放射線量率の基準について年間1ミリシーベルト以下とし、毎時1マイクロシーベルト未満を目安とするとのことですが、毎時1マイクロシーベルトに24時間を掛け、365日を掛けると、計算が合わないのですが、</p>

	あくまで学校においてということで解釈してよろしいですか。
事務局	基準につきましては文部科学省の通知に基づいて算出しておりますが、学校において校舎内にいる時間を4時間半、校庭にいる時間を2時間で合計6時間半としたときに年間の放射線量が1ミリシーベルト以下ということです。この計算ですと、0.58ミリシーベルト程度になると思います。
石澤委員	文章の表現について、空間放射線量率の検査体制の部分の文頭に「保護者等の安心感を高めるため」とありますが、放射線量を測定するのは、保護者等の安心感を高めるためではなく、「子どもたちの被ばくを最小限に抑えるため」としたほうが適切ではないでしょうか。
事務局	この表現につきましては、宇都宮市は基本的に安全であるという前提から、安全であることの次には、保護者の方々の安心感を高めたいということでこのような表現にしたところですが、石澤委員のおっしゃる通り適切な表現について検討したいと思います。
勝田委員	空間放射線量率の定点測定については校庭等の中央部を1箇所測定することとなっておりますが、学校農園の測定は行わないのでしょうか。
事務局	資料の1ページ一番下のコメ印の部分に記載しておりますが、「市教育委員会が指定した場所の他、学校長の判断により、必要に応じて任意で測定することも可能」として対応しております。また、収穫された作物についても別途検査機関に検査を依頼します。
石川委員	10月14日に開催される「放射線の正しい知識について」の講演会にぜひ参加したいと考えていますが、チラシ裏面のFAXで申し込みは良いのですか。
事務局	この講演会につきましては、事前に質問を受け付ける形をとっておりまして、チラシ裏面のFAXもしくはEメールで質問をしていただくようになっております。また、会場の定員により先着2,000名ということになりますが、参加されることについての申し込みは不要です。
廣瀬委員長	直接、文化会館に行けば良いということだそうです。他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。 無いようですので、次に報告事項の3「宇都宮市民大学（前期講座）の実施状況について」事務局から説明願います。
事務局	【資料3について説明】

廣瀬委員長 ただいま事務局から説明がありました。ご意見いかがでしょうか。

吉田委員 市民大学の講座開催の時間帯はどのようになっていますか。もし平日の昼間ということだと参加できる方も限られてしまうと思います。

事務局 時間帯につきましては、午前の部が10時から12時、午後の部が2時から4時となっております。平日の昼間の時間帯で開催しております。「親子の心を結ぶ絆づくり」など、募集定員に対して受講者数が少なかった講座もあり、参加しやすい環境づくりについて検討していきます。

廣瀬委員長 他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。
無いようですので、次に報告事項の4「人材かがやきセンター主催講座の実施状況について」事務局から説明願います。

事務局 【資料4について説明】

廣瀬委員長 ただいま事務局から説明がありました。ご意見いかがでしょうか。
人材かがやきセンター事業につきましては、非常に活発になっていると感じております。人材かがやきセンターは社会教育委員の会議からも意見を出しました「宇都宮市地域教育推進計画」に基づいて整備された地域教育の拠点です。
ご意見・ご質問無いようですので、次の議事に進みたいと思います。
報告事項の5「子どもの家等日曜日開設事業等の実施状況について」事務局から説明願います。

事務局 【資料5について説明】

廣瀬委員長 ただいま事務局から説明がありました。ご意見いかがでしょうか。
この夏の電力需給対策やサマータイムの実施に絡んで、子ども家の日曜開設や開設時間を延ばして実施したことの報告ということでしたが、ご質問等無いようですので、次に協議事項の1「(仮称)宇都宮市成人教育推進計画」の策定について」事務局から説明願います。

事務局 【資料6について説明】

廣瀬委員長 成人教育という言葉は、捉え方によっては、大人の価値観や考え方を型にはめたり、学びを強要したりするといった誤解を生む危険がありますが、ここでいう成人教育は大人の自主的・自立的な学びを支援することでよりよい社会をつくるための人を育てる、そういった大人が学習しやすい環境

	づくりを行うということです。答申の概要の中にある「イキな宮人づくり」というキャッチフレーズも「まちづくりを支える人づくり」と読み替えても良いと思います。
河田委員	今の時点で成人教育という言葉が誤解を生じる恐れがあると分かっているならば、成人教育という名前自体を変えてしまってはどうでしょうか。
福田副委員長	名前の件については是非検討してほしいと思います。私自身、成人教育という言葉に押しつけられるような、上から目線のような印象を受けました。
廣瀬委員長	これは事務局への宿題になるかと思いますが、計画策定の際に、サブタイトルなどで誤解を生じないような工夫についてお願いしたいと思います。
石川委員	答申の概要の中の具体的方策で自然にできるとカッコいい！イキな（仮）「宮しぐさ」の提案・募集・普及啓発とありますが、提案という形で行っていくのですか。
事務局	行政からの押しつけにならないように、大人の学習意欲を高めるためには、意識醸成や普及啓発が必要不可欠であると思いますので、「宮しぐさ」につきましては、大人の気づきや主体性を大切にしながら検討していきたいと考えています。
福田副委員長	答申の概要では、壮年期が30から40代となっておりますが、その前の年代については書かれておりません。子どもが生まれたばかりの世代に対する事業などについても、配慮してほしいと思います。
廣瀬委員長	その点については私も同感です。いま、社会教育全体の問題として、青年教育の部分が抜け落ちているということもあり、その年代をクローズアップする必要があると思います。
河田委員	幼児期に人格が形成されることを考えると、私も幼児を持つ親の世代の学びが重要だと思います。先ほどの議題にもあった成人式の間を活用して成人教育の事業が展開できると良いのではないかと思います。
福田副委員長	成人式の地域交流事業の中で、学びの場づくりなどが提案できるとよいと思います。成人教育に配慮し、自分が役割を担うという大人の自覚を促したり、気持ちが引き締まるような働きかけをしたりできるとよいと思います。
廣瀬委員長	例えば、「恋人ができたなら親学を学ぼう」というように、早めの取り組みが

	必要かもしれません。
石澤委員	家庭教育に携わる者としてこの会議に参加させていただいていますが、親学や家庭教育について、関係者の方々は積極的に取り組んでおり、頑張っていると思います。欲を言えば、子育て世代の方が参加しやすい環境として、託児の充実が課題となっています。
事務局	託児ボランティアの養成講座を実施した生涯学習センターがあり、受講された方の活躍の場をコーディネートするために各生涯学習センターにおいて情報を共有化する動きが出てきております。
吉田委員	最近の小学校の図書室などを見ると、偉人伝が少ないように感じます。考え方を押しつけるということではなく、偉大な功績を残した人物の考え方や生き方をきっかけにするのは有効だと思います。
廣瀬委員長	貴重なご意見ありがとうございます。 成人教育については、再度意見交換の機会を持てますか。
事務局	12月に計画素案についてご意見をいただきたいと考えています。
廣瀬委員長	他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。 無いようですので、その他の1「宇都宮市民大学（後期講座）について」、その他の2「平成23年度中期・後期人材かがやきセンター主催講座について」事務局から一括で説明願います。
事務局	【資料7、8について説明】
廣瀬委員長	ただいま事務局から一括で説明がありましたが、ご意見いかがでしょうか。
伊藤委員	資料8の「パパがプロデュース！子どもの心をつかむワイルド海賊塾」について、非常に魅力的な講座だと思いますが、これは今回限りの単発の講座なのですか。
事務局	今年度は全2回の講座となっており、そのうち1回目を「親父の作戦会議」と題して、家族を喜ばせるための企画などについて話し合いを行いました。そのような中で、地域の子ども会活動などの場で使えるゲームのスキルや企画力などを身につけて貰おうという講座です。また、昨年度もパパを対象とした講座を実施しており、今年度はその時の受講生に活躍してもらいさらにレベルアップしてもらおうといった、引き続いての講座になっています。

廣瀬委員長

他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

無いようですので、以上で本日の議事を終了させていただきます。

ありがとうございました。